

医療の範疇はどこまでなのか ～保険医+αの医療活動に関して～

社会情勢に加えて、医療財政や働き方改革など、医療機関の将来に関しては、不安や不透明感が少なくない。

一方で医療に関する専門家は、周辺領域や関連分野からの期待感が高く、また新しいジャンルを切り開けるチャンスも多いと考えている。

今回は、日本の課題と、和歌山県の可能性に関して、「リトリート」「社会的処方」などを踏まえて述べさせていただく。

と き 2026年

8月29日(土) 午後3時～5時

ところ **和歌山県立情報交流センターBig・U**
多目的ホール (田辺市新庄3353-9)
電話 0739-26-4111

参加費無料

事前申込不要 (会場に直接お越しください)

講師

山本 竜隆 先生

(日本ホリスティック医学協会会長)
(昭和医科大学客員教授)
(中辺路第一診療所医師)



講師プロフィール

医師・医学博士

富士山静養園代表、日本環境衛生・産業医事務所代表

医療法人FUJI理事

日本メディカルハーブ協会理事、日本リラクゼーション業協会顧問医師、

日本医師会認定産業医、日本東洋医学会認定専門医、

日本温泉気候物理医学会認定温泉療法医

聖マリアンナ医科大学、昭和大学医学部大学院卒業。

米国アリゾナ大学医学部統合医療プログラムAssociate Fellow (2000年～2002年) をアジアで初めて修了。

その後、統合医療ビレッジグループ総院長、中伊豆温泉病院内科医長、(株)小糸製作所静岡工場診療所所長・産業医などを経て、地域で51年ぶりの医療機関、朝霧高原診療所および、「富士山静養園」と「日月倶楽部」をフェーズフリーのリトリートのモデル事業として展開してきた。

現在は30数社の産業医を担当しつつ、富士山麓・朝霧高原と紀伊田辺・熊野を拠点として、全国のリトリートやエコビレッジのフェーズフリー化と「リトリート・アライアンス」の構築に向けて活動している。またパスポートポートフォリオとしてオランダ、インドでの連携を準備している。

【著書(共著含む)・監修など】

「統合医療のすすめ」(東京堂出版)、「イタリアンテルメ」(エルゼビア・ジャパン)、「統合医療運営マニュアル」(現代企画)、

「ホリスティック家庭の医学療法」(ガイアブックス)、「365日のアロマレシビ」(永岡書店)、

「統合医療理論と実践」(日本統合医療学会)、「統合医療とは何か?が、わかる本」(ほんの木)、

「自然欠乏症候群」(ワニブックス)、「癒しの心得」(旬報社)、「食べもので”体の不調”を治す本」(アスコム)、

「スピリチュアリティと医療・健康」(ビーイング・ネット・プレス)、「オブティマムヘルス」のつくり方(ワニブックス)、

「リトリート」(旬報社) など

主催/和歌山県保険医協会・紀南支部

共催/田辺圏域在宅医療・介護連携支援センター

〒640-8033 和歌山市本町4丁目32 ここさビルディング3階

後援/和歌山県介護支援専門員協会西牟婁田辺支部

電話: 073-436-3766